

つるぎ語り部チーム“YOH!!ほうらい”活動

## 活動報告書

つるぎ街づくり協議会

つるぎ語り部チーム

“YOH!!ほうらい”

**この街を、僕たち、私達が  
語り伝えてゆきます**

つるぎ街づくり協議会

### 【はじめに】

私たちの暮らす鶴来地区は金沢市をはじめ、3市1町に隣接し、東側に獅子吼山系を背負い、西側には清流手取川が流れる山紫水明の自然豊かな街です。

この豊かな自然環境がもたらす恵みを受けて農林業や商工業の歴史が連綿と受け継がれてきている。

又、白山比咩神社、金劔宮、鶴来別院を代表とする神社仏閣も数多く立地し、門前町としての風格が漂います。

一方では、山麓と平野部を結ぶ街道筋にあることから人物往来、物資の集散地として宿場町の性格も持っています。

### 【目的】

この様な立地と歴史の中で、伝統ある文化、産業、風俗・風習などが今も色濃く残っている。

これらを学び、知り、伝えてゆくことで地域愛に目覚め、街づくり、賑わい創出につなげ、特に、子供たちの活動を通じて地区全体の活性化を進めることを目指してきた。

その活動の一環をお話してゆきます。



### 【活動概要】

鶴来の歴史、文化、伝統、産業などを子供たちが知識として確認し、将来へ伝承する活動を通して、故郷への愛着を持つことが出来るよう、昨年から取り組んできた活動を継続した。

今年度は高校生を中心に計5回、延べ15時間を超える勉強会と実地研修を重ね、その成果を鶴来金劔宮の秋祭り「ほうらい祭り」を中心に2日間で約1300人の方々に発表した。又、街づくりシンポジウムの一環としても発表する機会を持つことが出来た。

当初は手探りの状況から出発したが、まじめで熱心な取り組みの中で終盤は自分たちの物にした知識を堂々と発表できるようになった。

子供たちは、故郷への思いや知識を得る楽しい時間をもって参加できたと一様に語り、地域の明るい未来が見えた活動となった。



**【開催日時 開催場所 参加者等】  
勉強会**

第1回	9月12日 18:30～	横町うらら館	高校生10名	教諭 1名	男子6名(1名欠席)、女子5名 自己紹介、概要・予定説明 ユニフォーム配付・試着
			協議会 2名	講師 1名	
第2回	9月20日 18:00～	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	鶴来の街の勉強会
			協議会 2名	講師 1名	
第3回	9月24日 13:00～	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	鶴来の街の勉強会 現場研修街歩き
		鶴来市街地	協議会 2名	講師 1名	
第4回	9月27日 18:00～	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	鶴来の街の勉強会 発表担当決めと発表練習
			協議会 2名	講師 1名	
第5回	10月4日 18:00～	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	鶴来の街の勉強会 発表練習
			協議会 2名	講師 1名	

※活動参加者；鶴来高校2年生 11名（男子6名、女子5名）

※昨年活動した高校1年生 6名が適宜参加した。

**発表会**

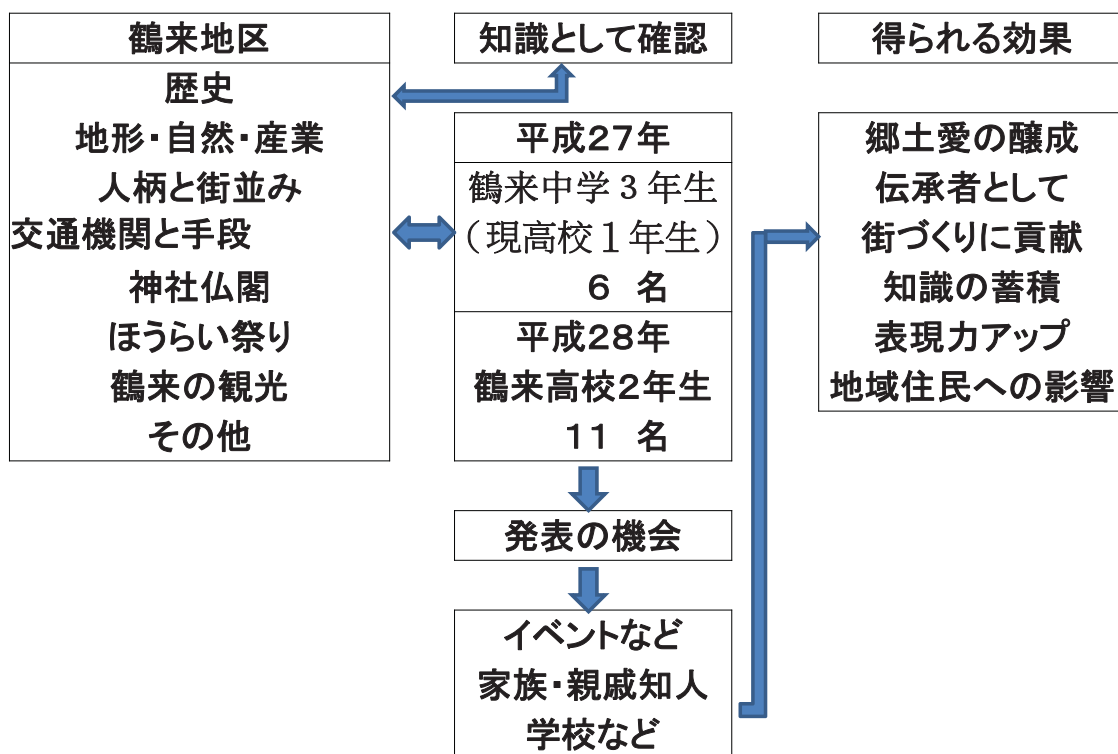
	日時	場所	参加者		備考
第1回	10月8日	横町うらら館	高校生11名	講師 1名	うらら館の来客者約800人に 勉強の成果を交代で発表
	13:00～17:00 金劔宮 ほうらい祭り		教諭 1名		
第2回	10月9日	横町うらら館	高校生11名	講師 1名	うらら館の来客者約500人に 勉強の成果を交代で発表
	13:00～17:00 金劔宮 ほうらい祭り		教諭 1名		
第3回	11月20日	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	シンポジウム参加者に 全員が成果を披露
	16:00～17:00 白山市まちづくり シンポジウム		協議会 1名	講師 1名	

**総括・反省会**

	日時	場所	参加者		備考
第1回	11月20日	横町うらら館	高校生11名	教諭 1名	勉強会、発表会を終えて総括 反省点や今後の活動を協議
	17:30～19:00		協議会 2名	講師 1名	



【事業の成果】



## 【課題】

- ①平成27年度は中学3年生を主体に活動を行ったが、高校受験等の勉学の大切な時であり、制約と一部問題提起もあった。保護者、学校へ事前の了解はとっていたが、これらの課題をクリアすることが必要。
- ②平成28年度は高校2年生を主体にし、多少レベルアップした内容で学んでもらった。勉学、部活等で時間の制約もあり短期間で集中的に講義や実地研修を行ったが、中期的な活動期間でゆとりをもって参加できることが必要。
- ③活動の継続のためには、中学生、高校生に限らず、小学高学年生までに参加者の幅を広め、数年間にわたり、活動でき、参加人数が累積されることが必要。
- ④地域住民との連携、協力、理解が必要であるが、アピール不足の面があり、今後の課題。
- ⑤活動必要経費面では、助成が無ければすべて手弁当であり、手当の方策の検討が必要。

## 【今後の活動予定】

- ①子供たちの「語り部チーム」の枠をひろげ、活動の継続をはかる。
- ②知識の習得にとどまらず積極的に発表の機会をつくる。
- ③平成29年度の「白山開山1300年」の記念事業として参加の機会を増やす。
- ④金釵宮の「ほうらい祭り」2日間は、もてなしどころ「横町うらら館」への来客者への定点での語り部だけでなく、お祭り見物のミニツアーを設定し、ご案内しながら説明する移動語り部を行うなどの活動とする。
- ⑤地域の事業者、商工会、地域住民、小中学校、高等学校、保護者との連携をはかり、理解を得た活動とする。
- ⑥勉学、部活動に支障のないスケジュールや内容とする計画をたてる。

## 【おわりに】

昨年産声をあげた中学生主体の「語り部チーム」は、初々しいデビューでスタートした。

今年度は、「いしかわこどもの未来創造まちづくり事業」の助成採択を受け、高校生主体の語り部チームとして活動できた。思春期の複雑な年頃の子供達との接し方には、当初、心配もあり、危惧する面もあったが、最初の顔合わせから、まじめで真摯で積極的な姿勢に感動と共に活動できた。

共通する目的を持ち、自分たちの地域を好きになり、心のうちに故郷として愛着を持ち、そのことにより地域が発展し、伝統や文化が歴史の中に残っていくことになれば年齢を問わず行動を共にすることができることを実感できた。

参加した彼等、彼女等の未来は明るいものになると信じている。

# おわり